

平成23年度厚生労働省『こころの健康づくり対策事業』による
「思春期精神保健対策医療従事者専門研修」受講者の募集について

この研修は、厚生労働省「平成23年度こころの健康づくり対策事業 思春期精神保健研修事業」の一環として行われます。

子どもの心の診療をめぐる受診者数は、増加の一途をたどり、その内容も発達障害から、自殺企図、虐待やひきこもりに関連した問題など、多岐にわたる等、医療者に求められる治療・介入技術も高度・多様化してきております。しかし一方でそのような診療を行う医師の教育システムは、我が国においては十分とは言えない状況にあり、レジデントを受け入れている病院では「日々の臨床に追われ、系統だった指導をすることは困難」との意見も多く聞かれます。

そのような背景から、子どもの心の診療に関連した系統講義を全国規模で行うことを考えました。総論的な講義に関しては50分、各論的な講義に関しては30分とし、研修(1)と(2)を併せた計4日間をもって、一通りの内容を網羅するように計画しております。

まだまだ研修体制が十分に確立していない我が国ですので、どうしても各研修機関の「得意分野」というものが偏ってしまう傾向にあります。本研修会の目指すところとしましては、子どもの心の診療に携わって間もない先生（もしくはこの分野を目指そうとしている初期研修医の先生）に、まずこの領域全体の大枠を偏りなく理解していただき、臨床をしていく上での基礎としていただければと考えております。また専門性の獲得に向けた選択の契機となりましたら幸いです。加えてある程度研修を積まれた先生が、自身のサブスペシャリティを形成していくなかで改めて子どもの心の診療全体を眺め、再考する機会をきわめて重要と考えております。

このようなフレーミング、リフレーミングの何れかの機会に直面している先生方に、この研修を利用していただければと思います。

本来ですと各項目30分という設定は十分に理解するには短すぎることは承知しておりますが、そのような意図で運営しておりますので何卒ご理解のほどお願い致します。また学習していく上で、質疑応答の時間が必要との理解もしておりますが、運営上精一杯のスケジュールとなっておりますので、本研修では質疑応答の時間は設けておりません。その点もご理解下さい。

以上運営スタッフ一同が当初から考えていることであります。どうぞご検討の上、実施要項に則してお申し込み下さい。なお受講願書は国立国際医療研究センター国府台病院のホームページ、診療案内（→児童精神科）からもダウンロードできます。

厚生労働省 平成 23 年度 こころの健康づくり対策事業
思春期精神保健対策医療従事者専門研修 実施要項

1. 目的 こどもの心の診療を行う医師の育成を目的としており、系統講義の形式での関連領域に関する臨床知識の提供を目指しています。
2. 日時 研修(1) 平成 23 年 12 月 20 日(火) 21 日(水)
研修(2) 平成 24 年 1 月 23 日(月) 24 日(火)
(どちらか一方のみの参加でもかまいません。時間は 9:30-17:00 を予定)
3. 場所 研修(1) 研修(2)
野村コンファレンスプラザ日本橋 5 F 大ホール
〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-4-3
4. 受講対象者 初期研修医、小児科医、精神科医
(コメディカルの希望者に関しては若干名受け入れます)
5. 受講料 無料
6. 定員 研修(1)(2)共に 70 名
7. 研修内容 別紙参照
総論的な講義に関しては 50 分、各論的な講義に関しては 30 分とし、研修(1)と(2)を併せた計 4 日間をもって、一通りの内容を網羅するように計画致しております。
8. 修了証書の授与 研修(1)、(2)共に 2 日間欠席なく受講された方には修了証書を授与します。遅刻、欠席、早退などは修了証書の授与ができない場合がありますのでご注意ください。
9. 申込締め切り 平成 23 年 11 月 15 日(火)まで(必着)
別紙「受講願書」(様式 1 号)、「受講推薦書」(様式 2 号)に記入の上、申し込み先まで郵送下さい。
10. 受講決定通知 期限内に応募があった中から選考の上参加者を決定し、郵送にて 11 月 24 日までに結果を通知します。(連絡が遅い場合はお問い合わせください)
11. その他 昼食・宿泊については、用意・案内はございません。各自でお願い致します。

【書類送付先・問い合わせ先】

〒272-8516 千葉県市川市国府台 1-7-1

国立国際医療研究センター国府台病院 児童精神科 小平雅基

TEL 047-372-3501 (代) FAX 047-318-4622

(様式1号)

受 講 願 書

平成 年 月 日

独立行政法人
国立国際医療研究センター総長 殿

勤 務 先 _____

〒

勤務先所在地 _____

勤務先電話番号 _____

勤務先Fax番号 _____

Email address _____

フリガナ

氏名 _____ 印

貴院の厚生労働省 平成23年度こころの健康づくり対策事業「思春期精神保健対策医療従事者専門研修」を受講したいので関係書類を添えて申請いたします。

希望する研修：以下の何れかに○をつけて下さい

研修（1）のみ

研修（2）のみ

研修（1）と（2）両方

(様式2号)

職 種	1. 初期研修医 2. 小児科医 3. 精神科医 4. その他()
現在の勤務場所 (該当する番号・記号に ○印を付すこと)	1. 大学病院 2. 総合病院 3. 小児専門病院 4. 単科精神病院 5. クリニック 6. 研究機関 7. 児童相談所など福祉機関 8. 矯正医療機関 9. 教育機関 10. その他()
上記のとおり相違ありません。 平成 年 月 日 氏名 _____ 印	

受講推薦書

上記の者を貴院の厚生労働省 平成23年度こころの健康づくり対策事業「思春期精神保健対策医療従事者専門研修」受講生として推薦いたします。

施設名 _____

所在地 _____

代表者(所属長)氏名 _____ 印

平成 年 月 日

独立行政法人
国立国際医療研究センター総長 殿

研修内容

研修（１）

平成 23 年 12 月 20 日(火)・21 日(水)

- (A) 子どもの精神発達
- (B) 子どもの心の診療にみられる各病態
 1. 広汎性発達障害
 2. 注意欠如多動性障害
 3. 反抗挑戦性障害、行為障害
 4. うつ病性障害、自殺関連事象
 5. 双極性障害
 6. 統合失調症
 7. 摂食障害
 8. 強迫性障害
 9. チック障害、習癖
 10. 睡眠関連障害
 11. パーソナリティ障害
 12. 心身症
 13. 子どものトラウマ
 14. 解離性障害、転換性障害
 15. てんかん
- (C) 子どもの心の診療特有の問題
 1. 児童虐待
 2. 周産期関連の問題とその後の発達
 3. 不登校、ひきこもり
- (D) 諸検査
 1. 脳波検査
 2. 画像検査
 3. 認知機能検査
 4. 心理検査

(A) は 50 分、他は 30 分

研修（２）

平成 24 年 1 月 23 日(月)・24 日(火)

- (E) 子どもの神経発達
- (F) 母子関係の精神保健
- (G) 乳幼児精神医療
- (H) 治療介入技法
 1. 子どもの治療とは
 2. ケースフォーミュレーション
 3. 薬物療法 1
 4. 薬物療法 2
 5. 個人力動的的精神療法
 6. 家族療法
 7. 集団療法
 8. 行動療法
 9. 入院治療
 10. 発達障害への療育
 11. 他機関との連携
 12. At Risk Mental State への支援
 13. アウトリーチ的介入
 14. Parent Child Interaction Therapy
- (I) 病院以外の機関での活動
 1. 児童相談所
 2. 自立支援施設
 3. 医療少年院
 4. 情緒障害児短期治療施設

(E) (F) (G) は 50 分、他は 30 分

(内容は現時点の予定であり、変更の可能性はあります)